

August 29, 2019

【前日の為替概況】ドル円、ダウ平均や日経平均先物の上昇を好感して 106.23 円まで上昇

28 日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反発。終値は 106.12 円と前営業日 NY 終値 (105.75 円) と比べて 37 銭程度のドル高水準だった。新規の取引材料に乏しく、しばらくは 105 円台後半でのみ合いが続いたが、一時は 140 ドル超下落したダウ平均がプラス圏を回復し、250 ドル超上昇すると円売り・ドル買いが優勢となった。前日の高値 106.18 円を上抜けて一時 106.23 円まで上値を伸ばした。ナイト・セッションの日経平均先物が持ち直したことも相場の支援材料。

ユーロドルは 3 日続落。終値は 1.1078 ドルと前営業日 NY 終値 (1.1090 ドル) と比べて 0.0012 ドル程度のユーロ安水準だった。ユーロ圏景気の減速懸念などが引き続きユーロの重しとなり、一時 1.1073 ドルと日通し安値を付けた。対円中心にドル高が進んだ影響も受けた。

なお、伊新政権発足へ向けて協議していた与党「五つ星運動」と最大野党の「民主党」は辞表を提出していたコンテ首相を再び首相に擁立することで合意した。複数のメディアによると「マッタレウラ伊大統領はコンテ氏に政権樹立を指示する見通しだ」という。与党内の衝突で混乱していた伊政局は左派政党による連立政権発足に向け前進した。

ユーロ円は反発。終値は 117.56 円と前営業日 NY 終値 (117.30 円) と比べて 26 銭程度のユーロ高水準。ユーロドルの下落につれた売りが出て一時 117.11 円と日通し安値を付けたものの、売り一巡後は徐々に買い戻しが優勢に。ドル円や米国株の持ち直しにつれた買いが入り一時 117.68 円と本日高値を更新した。

ポンドドルは欧州時間に一時 1.2157 ドルと日通し安値を付けたものの、NY 市場では下げ渋った。ただ、欧州連合 (EU) からの合意なき離脱が現実味を帯びてきたことから戻りは 1.2253 ドル付近にとどまった。

ジョンソン英首相は、9 月上旬から 10 月中旬にかけて議会を休会とすることをエリザベス女王に要請し、承認されたと伝わった。英議会は 10 月 14 日まで閉会され、10 月 17-18 日の EU 首脳会議までに残された期間はわずか数日、EU 離脱までは 2 週間程度となり、合意なき離脱の可能性が一段と高まった。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米中通商協議・人民元対ドル基準値・月末取引に要注目か

本日の東京市場のドル円は、月末に向けた取引や中国人民元の対ドル基準値に注目しつつ、第 13 回米中閣僚級通商協議や香港情勢を巡るヘッドラインに警戒する展開が予想される。

ドル円のテクニカル分析では、23 日の陰線 (始値 106.44 円・終値 105.39 円) に対して、26 日は「切り込み線 (陽線)」で 106.41 円まで切り返し、27 日は陰線で反落、28 日は陽線で反発している。

26・27・28 日の 3 手で 23 日の陰線を上回ることが出来なかったことは、「下げ三法」的なパターンとなったことで売りシグナルと見なせる。

しかし、高値圏や安値圏での反転シグナルとなる「二本立ち二羽鳥」的なパターンとなったことは買いシグナルと見なせる。

本日は、攻防の分岐点である一目均衡表・転換線の 105.60 円を支持に買いスタンスで臨み、同線を割り込めば手仕舞い、23 日始値の 106.44 円を上抜ければ追撃買いのスタンスで臨むことになる。

ドル買い材料は、第 13 回米中通商協議への期待感、ムニューシン米財務長官の発言「米国は『当面』ドルに関して介入の意向はない」、ニューヨーク株式市場や日経平均先物が堅調に推移したこと、などが挙げられる。

ドル売り材料は、第 13 回米中通商協議への警戒感が払拭されていないこと、香港問題に関して、香港政府による戒厳令の可能性、中国政府による武力鎮圧の可能性、中東や朝鮮半島の地政学リスク懸念、などが挙げられる。

英国情勢は、英議会の再開が 10 月 14 日まで延長されたことで、17-18 日の欧州連合首脳会議を経て、10 月 31 日の離脱期限を迎えることになり、合意なき離脱を阻止する議会の動きが封じ込められることで、「合意なき EU 離脱」の可能性が高まっている。

ポンドにとっては売り材料、リスク回避の円買い材料となる。

イタリア情勢は、マッタレウラ・イタリア大統領がコンテ首相に新政権樹立をまとめるよう指示したことで総選挙は回避され、新連立政権による 2020 年予算を巡る欧州連合 (EU) との対立が回避されるとの期待感が高まっている。

ユーロにとっては売り材料が後退、リスク回避の円買いも後退したことになる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 10:30 ◎ 鈴木日銀審議委員、あいさつ
- 14:00 ◇ 8月消費動向調査（消費者態度指数 一般世帯、予想：37.5）

<海外>

- 10:00 ◇ 8月NBNZ企業信頼感
- 15:00 ◎ 4-6月期ノルウェー国内総生産（GDP、予想：前期比0.5%）
- 15:45 ◇ 7月仏消費支出（予想：前月比0.3%）
- 15:45 ◎ 4-6月期仏国内総生産（GDP）改定値（予想：前期比0.2%）
- 16:00 ◇ 7月トルコ貿易収支（予想：32億ドルの赤字）
- 16:55 ◎ 8月独雇用統計（予想：失業率5.0%／失業者数変化4000人）
- 18:00 ◎ 8月ユーロ圏消費者信頼感指数（確定値、予想：▲7.1）
- 18:00 ◎ 8月ユーロ圏経済信頼感指数（予想：102.3）
- 18:30 ◇ 7月南アフリカ卸売物価指数（PPI、予想：前月比0.2%／前年比5.4%）
- 21:00 ◎ 8月独消費者物価指数（CPI）速報値（予想：前月比▲0.1%／前年比1.5%）
- 21:00 ☆ 4-6月期ブラジルGDP（予想：前年同期比0.8%）
- 21:30 ◇ 4-6月期カナダ経常収支（予想：98億カナダドルの赤字）
- 21:30 ☆ 4-6月期米GDP改定値（予想：前期比年率2.0%）
 - ◎ 個人消費（改定値、予想：前期比4.3%）
 - ◎ コアPCE（改定値、予想：前期比1.8%）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：21.5万件／168万人）
- 23:00 ◎ 7月米住宅販売保留指数（仮契約住宅販売指数、予想：前月比横ばい／前年比1.8%）
- 30日 02:00 ◎ 米財務省、7年債入札

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

28 日 08:26 オア NZ 準備銀行 (RBNZ) 総裁

「NZ ドルの水準は競争力において重要な役割を果たす」

「金融政策は今までと同様に効果的」

28 日 18:25 ジョンソン英首相

「ブレグジットを議論するためにまだ十二分の時間がある」

「政府には新たな法律が必要」

「総選挙の準備はない」

「議会の停会を模索している」

「新たな議会は 10 月 14 日から」

28 日 19:51 コービン英労働党党首

「英政権の無謀さにあきれた」

「ジョンソン首相は合意なきブレグジットを吟味されるのは避けたいのだ」

「ある時点で内閣信任投票を要求する」

28 日 21:10 トランプ米大統領

「我々は中国と上手くいっている。こんなことは今までなかった」

29 日 01:51

「中国と取引をまとめ、ヒーローになることは可能」

29 日 01:29 メクラー・スイス国立銀行 (スイス中銀、SNB) 理事

「スイスフランは強すぎる」

「世界経済の進展はスイス経済に大きな影響を与える」

29 日 01:53 バーキン米リッチモンド連銀総裁

「FRB は利下げ効果に注視」

「海外経済に不確実性が高まっている」

29 日 06:01 ムニューシン米財務長官

「超長期債の発行を真剣に検討」

29 日 06:30

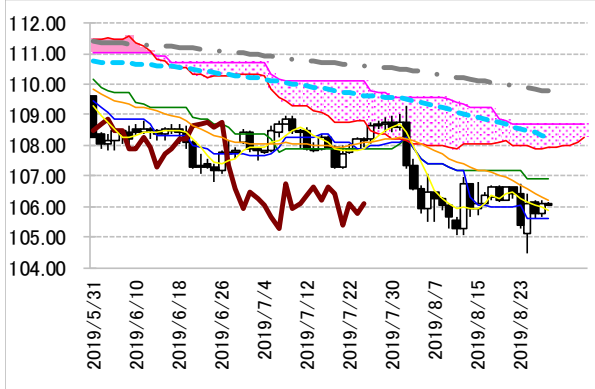
「米国は当面、ドルに関して介入する意思はない」

29 日 06:34 デイリー米サンフランシスコ連銀総裁

「FRB は低インフレで一段の雇用増を求めることができる」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕



<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、23日の陰線に対して26日の「切り込み線」で切り返しており、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下回った場合は手仕舞い。

| | |
|----------|---------------------|
| レジスタンス 1 | 106.89(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 106.12 |
| サポート 1 | 105.60(日足一目均衡表・転換線) |
| サポート 2 | 104.46(8/26 安値) |

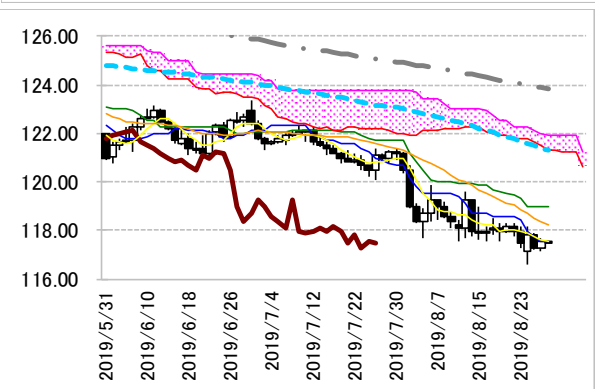


<ユーロドル＝基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。「被せ線」、3手連続陰線により下落トレンド再開の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|----------|---------------------|
| レジスタンス 1 | 1.1139(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 1.1078 |
| サポート 1 | 1.1027(8/1 安値) |



<ユーロ円＝26日安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、23日の陰線に対して切り込み線で切り返しており、反発の可能性が示唆されている。

本日は、26日安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|----------|---------------------|
| レジスタンス 1 | 118.98(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 117.56 |
| サポート 1 | 116.57(8/26 安値) |



<豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。23日の陰線に対して26日の切り込み線で切り返しており、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|----------|--------------------|
| レジスタンス 1 | 72.78(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 71.46 |
| サポート 1 | 71.19(日足一目均衡表・転換線) |

